



ハメ ドウースト



みんな ともだち!



Tehran
Japanese
School

学校便り「ハメドゥースト」
2023年度 第10号
2024年2月1日発行

ひと手間を惜しまず値打ちを上げる

～令和6年の年頭にあって～

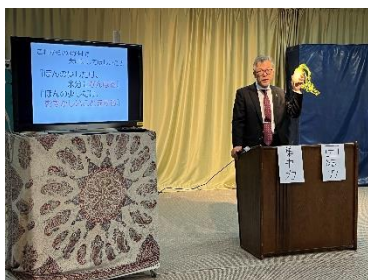
テヘラン日本人学校 校長 西田隆之

新年あけまして、おめでとうございます。年の初めから、日本国内では能登半島地震、航空機事故があり、イラン国内では他国とのミサイル攻撃など、今年はどんな一年になるのか、多くの方が不安を持ちながらのスタートとなりました。しかし、これまで多くの困難を乗り越えてきたのが日本です。冷静に状況を見ながらも粛々と、そしてしなやかに毎日を大切に生活していきたいと思います。

その年頭に当たり、『冬休み明け集会』では、子ども達に「ちょっとしたひと手間を惜しまずに、値打ちを上げよう」と話しました。春の七草の中で一番ポピュラーなものは、スズシロ（大根）です。子ども達には、大根を見せながら、「土の付いた大根とついてない大根、貴方はどちらを選びますか」と問いかけてました。大根は、土を落として売り物となります。そのひと手間が商品価値を上げます。

この“ひと手間かける”重要性は、大根だけではなく、学習や生活においても同様です。漢字や計算の練習、テストなどでは、見直しをすることで正答率は上がります。図工美術や技術の製作は、そのひと手間が創り手のこだわりと言えますし、そこが魅力でもあります。お友達との会話でも、ちょっとした気配りで、その後の関係はずいぶん変わってきます。そうしたひと手間、ちょっとした気配り、心遣いをするかしないかで、活動・行動の値打ちが上がったり、下がったりします。

本校の子ども達は、素直で頑張り屋ばかりです。こうした、ひと手間をかけることを惜しまず学習、生活できれば、今年一年で大きく成長することでしょう。暗いニュースが続いた1月でしたが、子ども達の姿を見れば、明るい将来を感じずにはいられません。



真剣勝負！百人一首大会

1月11日、恒例の百人一首大会を開催しました。今回は、帰国している児童もあり、4人という少人数による対戦となりました。

昨年から、この大会に向けて準備してきました。ある子は、「暗記するため、下校の車の中で、何度も練習した」と話してくれましたが、そうした見えない場所での努力がそれぞれの子にあったようです。

青札の部、黄札の部、それぞれで競い合い、団体戦では二人組で、百人一首を楽しみました。勝ち負けは付きましたが、古くから受け継がれた日本文化に慣れ親しむこと、伝統的な遊びを通して勝敗を受け入れることなど、実りの多い大会となりました。

また、大会後は、保護者から手作りのぜんざいが振舞われました。互いの健闘を称え合いながら、美味しくいただきました。保護者の皆様、ありがとうございました。



【2月行事予定】

- 2月 4日 第6回学校運営委員会
- 5日 朝会 委員会活動（最終）
- 6日 クラブ活動（最終）
- 8日 マドレセサロン
- 12日 テスト週間（～26日）
- 20日 来年度学校経営方針保護者説明会
- 26日 後期期末考査（～27日）
第7回学校運営委員会
- 29日 授業参観日
PTA 総会
個人面談

今年も、子ども達の成長をみんなで支えていきましょう。どうぞよろしくお願いいたします。